

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 希望の郷

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 11 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	定められた職員の数で利用者を24時間介護していく中で、利用者の重度化や終末期に、ホームとして、何を、どこまで出来るのかを、家族や主治医、関係者と話し合い、早い段階から方針を共有していく。	ターミナルケアの指針を作成し、家族に説明し、ホームで出来ること、出来ないことを明示して、利用者、家族が安心して暮らせる終末期の、介護体制を確立させていく。	12ヶ月
2		グループホームの在り方を検討していく	毎年法律が変わる中で、グループホームの本来あるべき姿と、今後の方針について、関係者一同で話し合い、方向性を確立させる。	グループホームは小規模経営であるが、小回りが利き、家庭的であることを利点として、職員の介護力の向上と、職員の確保、利用者や家族と心の交流を図りながら、皆で協力し合い、助け合うグループホーム「希望の郷」を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。